

令和 7 年 11 月 25 日

ラオス官民合同委員会結果概要

日時：2025 年 11 月 7 日(金) 老時間 9:00-11:30

場所：技能開発院 (Skills Development Institute/SDI)

参加者数：21 名

政府(11)： 老 技能開発院(9 名)

日 厚生労働省(1 名)

訓練施設(1)： 老 ビエンチャン技能開発センター(Vientiane Skill Development Center/VSDC) (1 名)

現地企業(1)： 老 ラオス電力公社(Electricite du Laos) (1 名)

Electrical Civil Mechanical Engineering Co., Ltd. (ECME) (1 名)

援助機関(4)： 老 ラオス商工会議所(1 名)

日 JETRO ビエンチャン事務所(1 名)、JICA ラオス事務所(2 名)、

ラオス日本人商工会議所(1 名)、

有識者(1)： SESPP 事務局技術顧問(1 名)

事務局(1)： JTB 霞が関事業部 2 名 (別途、日老通訳 1 人)

1. 今年度の成果(SESPP 事務局)

昨年度に引き続き、現地研修をラオスにて実施した。

- ・配電盤・制御盤組立て作業 2 級技能評価トライアル(SET)

10 月 20 日～24 日、SDI にて実施。評価者 10 名、受検者 3 名(合格者無し)

- ・機械検査 3 級技能評価トライアル(SET)

11 月 3 日～6 日、SDI にて実施。評価者 7 名、受検者 6 名(合格者 1 名)

2. 次年度実施に向けた提案(厚生労働省)

①SESPP 事業の最終目標:技能評価システム(技能競技大会・技能検定)を構築することにより、技能労働者の育成及び能力向上を図る。

②技能検定の目標/活動

- ・目標…SESPP 協力職種の技能検定の構築

- ・活動…2025 年事業のフォローアップ (技能評価トライアル)

③ラオスにおける 2026 年度事業実施案

- ・2025 年度事業のフォローアップ

(配電盤・制御盤組立て作業 2 級 SET、機械検査 3 級 SET&SAC(技能評価者認定))

3. 官民合同委員会での主な意見

①ラオスにおける技能評価制度の構築のための取り組みについて

- ・SDI では技能評価制度を確立するために法令の整備や手順書の作成に取り組んでおり、それらに基づいて評価者の育成を進めている。(SDI・Phongsavanh 副所長)

- ・現在 6 分野(サービス&旅行業、サービス、ICT、自動車、建設、農業)で 44 職種の国家技能基準が整備されている。(SDI・Inthavone 氏)

- ・ラオスにおいては技能検定の認知度が民間企業ではまだ低く、ラオス商工会議所と協力し、民間企業への技能検定を浸透させる取り組みを行う予定である。(SDI・Phongsavanh 副所長)
- ・最近中学や高校を卒業した後に訓練校に行く者が減少しており、道路工事などの労働市場に入職する者が増えている。労働福祉省は 5 か年で 25 万人(国家技能検定で 5 万人、民間企業や民間団体の基準に沿った民間検定で 20 万人)に技能評価を行う計画を立てている。(SDI・Inthavone 氏)
- ・ラオス電力公社研修センターでは、スタッフの検定評価システムを構築中である。(ラオス電力公社)
- ・しっかりと検定制度を構築してほしい。(ECME)

②SESPP 事業について

- ・本年度は厚生労働省と SDI との間で MOC(Memorandum of Cooperation/協力覚書)を締結することで、2 職種の研修の実施が出来た。(SDI・Phongsavanh 副所長)
- ・SESPP 事業で支援された配電盤・制御盤組立て作業、機械検査については、民間企業や団体と協力して検定を広めていくことを計画している。(SDI・Inthavone 氏)
- ・2026 年度は、現在実施中の配電盤・制御盤組立て作業 2 級、機械検査 3 級に加え、SDI より左官、VSDC より縫製、調理、ホテルサービス等の職種の支援の希望があった。
- ・建設分野のニーズが高くなっており、南部・中部・北部の各訓練センターで訓練を実施している。以前左官職種を実施したときの評価者は退職した者もいるが一部は残っている。また、前回使用した機材や道具は保管してある。左官職種は、国家基準があり現在改定を進めおり、ASEAN の基準もある(SDI・Inthavone 氏)

以上、